

日本のエネルギー利用効率は 世界の中でもトップクラス

環境対策として、エネルギー資源を効率よく利用することも重要です。エネルギー資源を効率よく使用して消費量を減らすことができれば、大気汚染物質や炭酸ガスなどの排出量も減らすことができます。

図3-4は主要国のGDP(国内総生産)100万ドル当たりの炭酸ガス排出量です。この数値が小さい国は、自然エネルギー(水力発電、地熱発電、風力発電、太陽光発電など)の利用や原子力発電など、発電時に炭酸ガスを出さないエネルギー源の利用比率が高いか、省エネルギー技術が進んでいる国です。

日本は比較的多くのエネルギー資源を消費している国の一つですが(図3-2)、過去のオイルショックなどの経済危機や環境対策などによって省エネルギー技術が発達しており、図3-4からわかるように、世界の国々の中ではトップクラスの低炭素社会を実現しています。

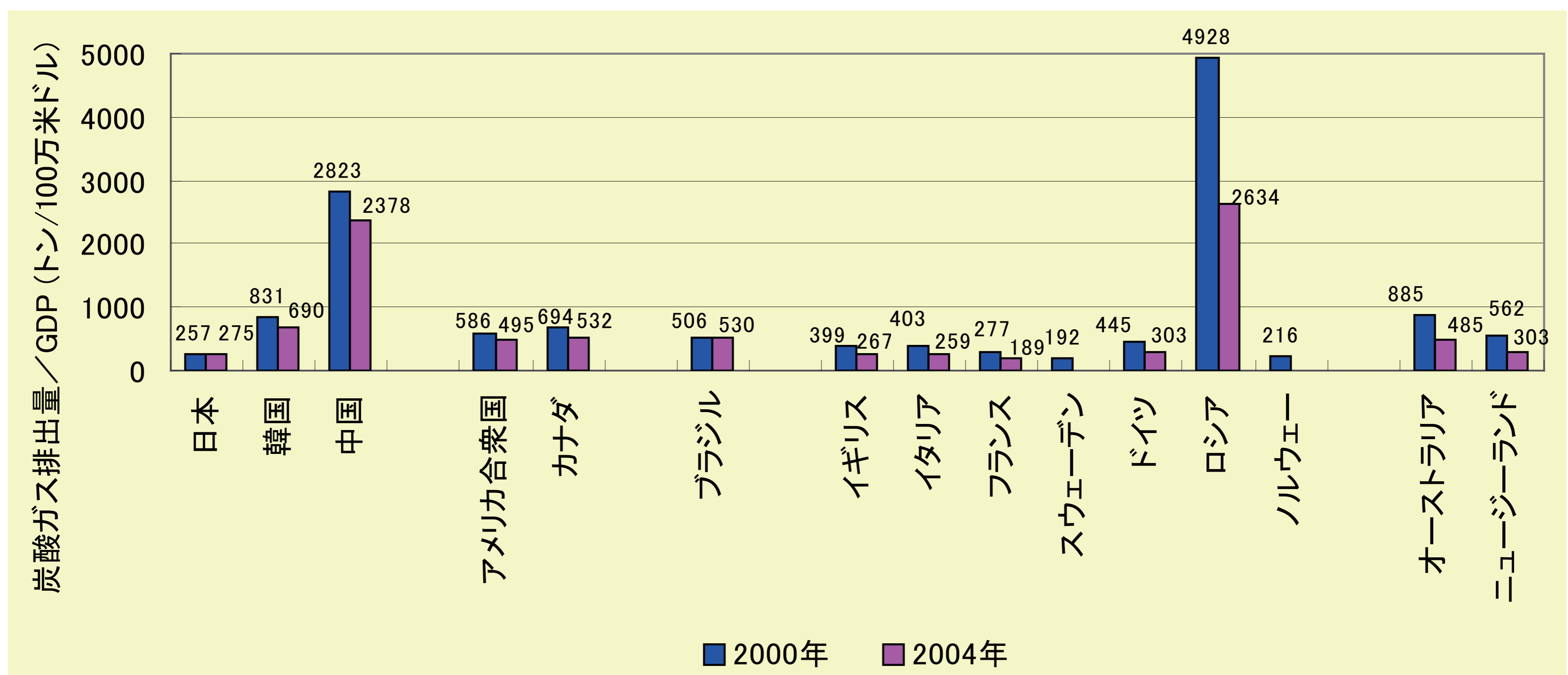


図3-4 GDP百万ドル当たりに排出した炭酸ガス量の国別比較(2000年、2004年統計)